

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[ネットワーク図](#)

[コンフィギュレーション:](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[参照:](#)

概要

VxLAN DCI slowlygaining VxLAN Layer-3/Public 2 IOS-XE

3

1- 1 3 DC Vxlan

2- 2 2 DC Vxlan

3- 3 VxLAN

前提条件

Cisco は DCI (データセンター相互接続) オーバーレイの基本的な知識があり、マルチキャストすることを推奨します

要件

この資料は特定のソフトウェア および ハードウェア バージョンに制限 されません

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークがライブである場合、あらゆるコマンドの潜在的影響を理解することをお勧めします

使用するコンポーネント

このラボに関しては、使用されるデバイスおよび software は述べられるようにあります

ソフトウェア 03.16.00.S を実行する ASR1004

CSR100v(VXE) ソフトウェア 3.16.03.S を実行すること

設定

セクション 1: マルチキャスト モードの 3 データセンタ間の Vxlan を設定して下さい

設定を基づかせて下さい:

ユニキャストおよびマルチキャスト 接続はマルチキャスト モードの場合にはサイト間で必要です。このコンフィギュレーション ガイドではユニキャスト 接続を提供するのに、OSPF が使用されています。双方向 PIM はマルチキャストのために使用されます。

マルチキャスト 動作モードのためのすべてのデータセンタで持っている基礎設定は下記にあります:

```
!  
DC1#sh 実行 | 秒 ospf  
router ospf 1  
network 1.1.1.1 0.0.0.0 area 0  
ネットワーク 10.10.10.4 0.0.0.3 エリア 0
```

! PIM 双方向構成

```
!  
DC1#sh 実行 | 秒 PIM  
ip pim bidir-enable  
IP PIM 送信 RP ディスカバリ スコープ 10  
IP PIM BSR 候補 Loopback1 0  
IP PIM RP 候補 Loopback1 group-list 10 bidir  
!  
access-list 10 割り当て 239.0.0.0 0.0.0.255
```

DC1#

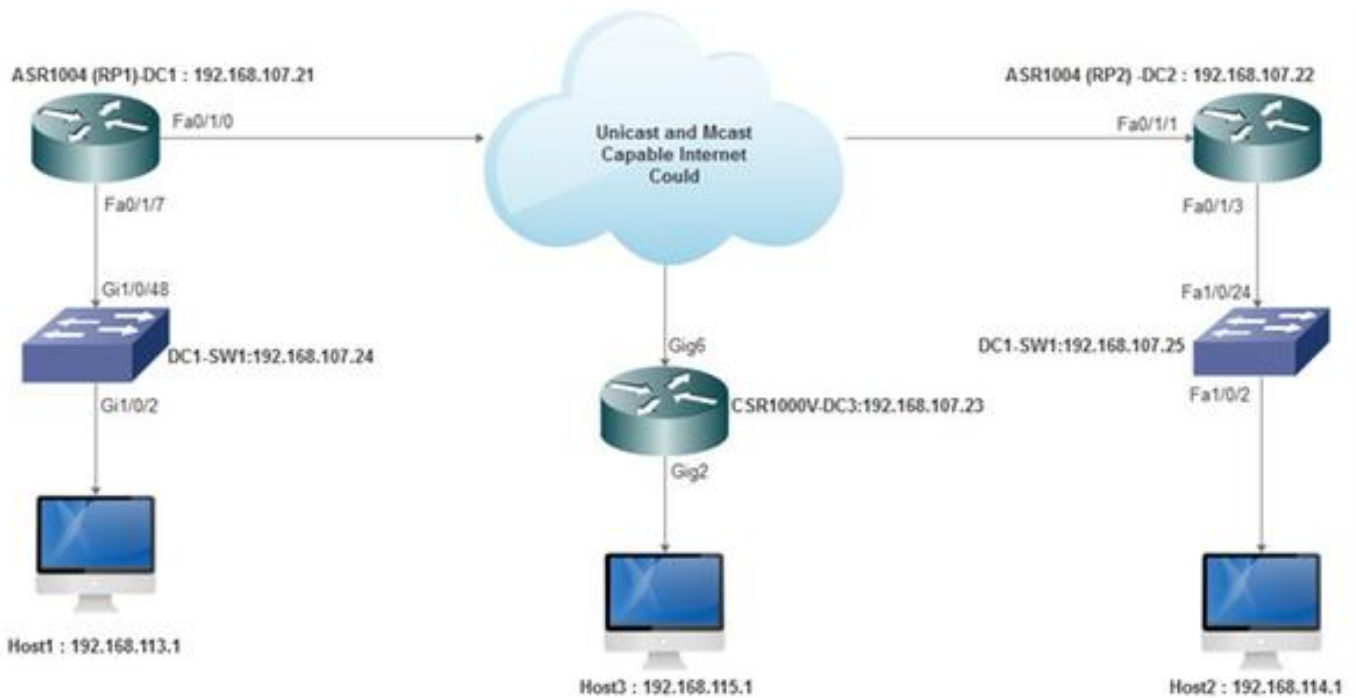
!
これから離れてループバックを含むすべての L3 インターフェイスの下で PIM 希薄モードを有効にしました。

```
!  
DC1#sh 実行インターフェイス lo1  
Building configuration...  
現在の設定 : 83 バイト
```

```
!  
interface Loopback1  
ip address 1.1.1.1 255.255.255.255  
ip pim sparse-mode  
end
```

mroute

ネットワーク図



設定

DC1(VTEP1):

!
!
Vxlan UDP (ユーザ・ データグラム・ プロトコル) ポート 1024

!
interface Loopback1
ip address 1.1.1.1 255.255.255.255
ip pim sparse-mode

!
VNI メンバーおよびメンバーを定義してブリッジドメイン 設定の下でインターフェイスさせて下さい。

!
ブリッジドメイン 1
メンバー vni 6001
メンバー FastEthernet0/1/7 サービス インスタンス 1

!
NVE (ネットワーク 仮想インターフェイス) の作成および他のデータ センタに WAN に伸ばされる必要 VNI メンバーを定義して下さい。

!
nve1 をインターフェイスさせて下さい
no ip address
締められる
メンバー vni 6001 mcast グループ 239.0.0.10

!
ソースインターフェイス Loopback1

!
特定の Vlan(802.1q タグ付きトラフィックの上にあるために LAN インターフェイス上のサービス インスタンスを作成する方法 (インターフェイスは LAN ネットワークを接続します))。この場合 VLAN 1。

!

インターフェイス FastEthernet0/1/7

no ip address

ネゴシエーション自動

cdp enable

no shut

!

VLAN タグをオーバーレイを渡るトラフィックを送信 する前に取除きリターントラフィックが VLAN に送信 されれば、またそれを押す必要がある必要。

!

サービス インスタンス 1 イーサネット

unagaged カプセル化

!

DC2(VTEP2):

!

!

Vxlan UDP (ユーザ・ データグラム・ プロトコル) ポート 1024

!

interface Loopback1

IP アドレス 2.2.2.2 255.255.255.255

ip pim sparse-mode

!

!

ブリッジドメイン 1

メンバー vni 6001

メンバー FastEthernet0/1/3 サービス インスタンス 1

!

!

インターフェイス nve1

no ip address

メンバー vni 6001 mcast グループ 239.0.0.10

!

ソースインターフェイス Loopback1

締められる

!

!

インターフェイス FastEthernet0/1/3

no ip address

ネゴシエーション自動

cdp enable

no shut

!

サービス インスタンス 1 イーサネット

encapsulation untagged

!

DC3(VTEP3):

!

!

Vxlan UDP (ユーザ・ データグラム・ プロトコル) ポート 1024

```
!  
interface Loopback1  
IP アドレス 3.3.3.3 255.255.255.255  
ip pim sparse-mode  
!  
!  
ブリッジドメイン 1  
メンバー vni 6001  
メンバー GigabitEthernet2 サービス インスタンス 1  
!  
インターフェイス nve1  
no ip address  
締められる  
メンバー vni 6001 mcast グループ 239.0.0.10  
!  
ソースインターフェイス Loopback1  
!  
インターフェイス gig2  
no ip address  
ネゴシエーション自動  
cdp enable  
no shut  
!  
サービス インスタンス 1 イーサネット  
encapsulation untagged  
!
```

確認

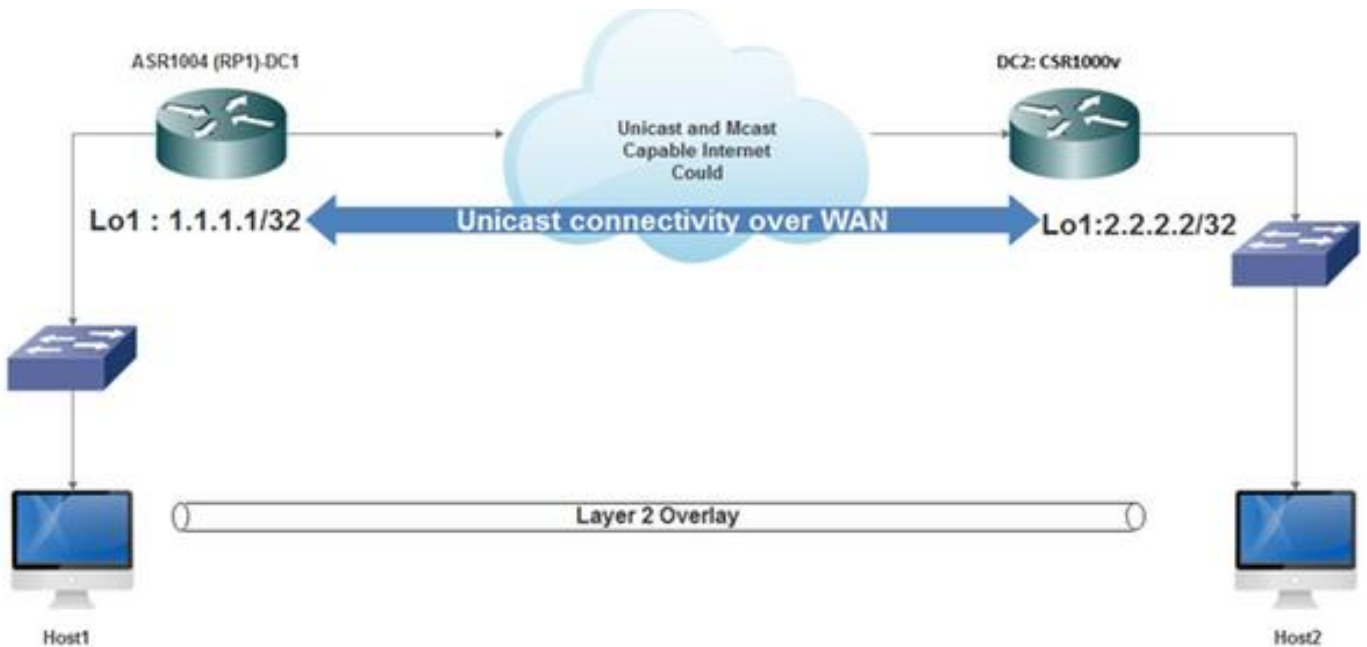
この時点で、各の接続されたホストはデータセンタ同じブロードキャスト ドメインの内で互いに達できませんはずです

コンフィギュレーションを確認するコマンドの下で使用して下さい。確認コマンドはセクション 3.でより詳しく説明されます。

```
Router#show nve vni  
Router#show nve vni インターフェイス nve1  
Router#show nve インターフェイス nve1  
Router#show nve インターフェイス nve1 詳細  
Router#show nve 同位
```

セクション 2: ユニキャスト モードの 2 データセンタ間の Vxlan を設定して下さい。

ネットワーク図



コンフィギュレーション:

DC1:

```
!
インターフェイス nve1
no ip address
メンバー vni 6001
```

! 入力複製 shold はピア データセンタ ループバックIPアドレスで設定されます。

```
!
入力複製 2.2.2.2
!
ソースインターフェイス Loopback1
!
!
インターフェイス gig0/2/1
no ip address
ネゴシエーション自動
cdp enable
!
サービス インスタンス 1 イーサネット
encapsulation untagged

!
!
!
ブリッジドメイン 1
メンバー vni 6001
メンバー gig0/2/1 サービス インスタンス 1
```

DC2:

```
!
```

```
インターフェイス nve1
no ip address
メンバー vni 6001
入力複製 1.1.1.1
!
ソースインターフェイス Loopback1
!

!
インターフェイス gig5
no ip address
ネゴシエーション自動
cdp enable
!
サービス インスタンス 1 イーサネット
encapsulation untagged

!
!
ブリッジドメイン 1
メンバー vni 6001
メンバー gig5 サービス インスタンス 1
```

確認

DC1:

```
DC1#sh nve vni
インターフェイス VNI マルチキャスト グループ VNI 状態
nve1 6001 N/A アップ
```

```
DC1#show nve インターフェイス nve1 詳細
Interface: nve1、状態: Admin、カプセル化の上のオペレーション: Vxlan
ソースインターフェイス: Loopback1 ( primary:1.1.1.1 vrf:0 )
Pkts バイトのバイトの Pkts
60129 6593586 55067 5303698
```

```
DC1#show nve 同位
インターフェイス ピア IP VNI ピア状態
nve1 2.2.2.2 6000 -
```

DC2:

```
DC2#sh nve vni
インターフェイス VNI マルチキャスト グループ VNI 状態
nve1 6000 N/A アップ
```

```
DC2#show nve インターフェイス nve1 詳細
Interface: nve1、状態: Admin、カプセル化の上のオペレーション: Vxlan
ソースインターフェイス: Loopback1 ( primary:2.2.2.2 vrf:0 )
Pkts バイトのバイトの Pkts
```

70408 7921636 44840 3950835

DC2#sh nve 同位

インターフェイス ピア IP VNI ピア状態

nve 1 1.1.1.1 6000

DC2#

DC2 #sh ブリッジドメイン 1

ブリッジドメイン 1 (すべての3つのポート)

State: MAC ラーニングの上: [Enabled]

エージングタイマー: 300 秒

BDI1 ()

GigabitEthernet0/2/1 サービス インスタンス 1

vni 6001

AED MAC アドレス ポリシー タグ 経過時間 Pseudoport

0 7CAD.74FF.2F66 はダイナミック 281 nve1.VNI6001 を、VxLAN 転送します

src: 1.1.1.1 dst: 2.2.2.2

0 B838.6130.DA80 はダイナミック 288 nve1.VNI6001 を、VxLAN 転送します

src: 1.1.1.1 dst: 2.2.2.2

0 0050.56AD.1AD8 はダイナミック 157 nve1.VNI6001 を、VxLAN 転送します

src: 1.1.1.1 dst: 2.2.2.2

トラブルシューティング

上記の確認コマンドが有用の基本的なトラブルシューティングの手順を提供するが働かない状況にしかし他の少数のトラブルシューティング診断があっても。そのうちのいくつかはこのセクションでカバーされます。以下の事項に注意して下さい:下記の診断の少数により増加されたメモリおよび CPU稼働率を引き起こす場合があります

1> デバッグ diagnostocs

#debug nve エラー

*Jan 4 20:00:54.993: NVE-MGR-PEER エラー: mcast ノード キャスト ノードのために正常な Intf 状態強制

*Jan 4 20:00:54.993: NVE-MGR-PEER エラー: mcast ノード キャスト ノードのために正常な Intf 状態強制

*Jan 4 20:00:54.995: NVE-MGR-PEER エラー: ピア ノード eer ノードのために正常な Intf 状態強制

*Jan 4 20:00:54.995: NVE-MGR-PEER エラー: ピア ノードのために正常な Intf 状態強制

#show nve Log エラー

[01/01/70 00:04:34.130 UTC 1 3] NVE-MGR-STATE エラー: vni 6001: エラーはトンネル伝送するために通知を作成します

[01/01/70 00:04:34.314 UTC 2 3] NVE-MGR-PEER エラー: mcast ノードのための成功したの上の Intf 状態強制

[01/01/70 00:04:34.326 UTC 3 3] NVE-MGR-PEER エラー: ピア ノードのための成功したの上の Intf 状態強制

[01/01/70 01:50:59.650 UTC 4 3] NVE-MGR-PEER エラー: mcast ノードのために正常な Intf 状態

強制

[01/01/70 01:50:59.654 UTC 5 3] NVE-MGR-PEER エラー: ピア ノードのために正常な Intf 状態強制

[01/01/70 01:50:59.701 UTC 6 3] NVE-MGR-PEER エラー: mcast ノードのための成功したの上の Intf 状態強制

[01/01/70 01:50:59.705 UTC 7 3] NVE-MGR-PEER エラー: ピア ノードのための成功したの上の Intf 状態強制

[01/01/70 01:54:55.166 UTC 8 61] NVE-MGR-PEER エラー: mcast ノードのために正常な Intf 状態強制

[01/01/70 01:54:55.168 UTC 9 61] NVE-MGR-PEER エラー: ピア ノードのために正常な Intf 状態強制

[01/01/70 01:55:04.432 UTC 3] NVE-MGR-PEER エラー: mcast ノードのための成功したの上の Intf 状態強制

[01/01/70 01:55:04.434 UTC B 3] NVE-MGR-PEER エラー: ピア ノードのための成功したの上の Intf 状態強制

[01/01/70 01:55:37.670 UTC C 61] NVE-MGR-PEER エラー: mcast ノードのために正常な Intf 状態強制

#show nve ログ イベント

[01/04/70 19:48:51.883 UTC 1DD16 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための vni 6001 を戻して下さい

[01/04/70 19:48:51.884 UTC 1DD17 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための pd_hdl[0x1020010] を戻して下さい

[01/04/70 19:48:51.884 UTC 1DD18 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための vni 6001 を戻して下さい

[01/04/70 19:49:01.884 UTC 1DD19 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための pd_hdl[0x1020010] を戻して下さい

[01/04/70 19:49:01.884 UTC 1DD1A 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための vni 6001 を戻して下さい

[01/04/70 19:49:01.885 UTC 1DD1B 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための pd_hdl[0x1020010] を戻して下さい

[01/04/70 19:49:01.885 UTC 1DD1C 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための vni 6001 を戻して下さい

[01/04/70 19:49:11.886 UTC 1DD1D 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための pd_hdl[0x1020010] を戻して下さい

[01/04/70 19:49:11.886 UTC 1DD1E 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための vni 6001 を戻して下さい

[01/04/70 19:49:11.887 UTC 1DD1F 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための pd_hdl[0x1020010] を戻して下さい

[01/04/70 19:49:11.887 UTC 1DD20 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための vni 6001 を戻して下さい

[01/04/70 19:49:21.884 UTC 1DD21 68] NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B68] のための pd_hdl[0x1020010] を戻して下さい

述べられたデバッグ診断から離れた 2> は、IOS-XE の EPC 機能トラブルシューティングに詳細の提供を助けます。Vxlan によってカプセル化されるパケットを説明する 1 人のそのようなキャプチャは下記にあります:

EPC 設定:

#monitor キャプチャ TEST access-list TEST_ACL インターフェイス gigabitEthernet0/2/0 両方

#monitor キャプチャ TEST バッファサイズ 10

#monitor キャプチャ TEST 開始する

ここに TEST_ACL はキャプチャ データをフィルタリングするのに使用される access-list です。
パケット ダンプするは次の通りです

show monitor キャプチャ TEST バッファ ダンプする

#モニタ キャプチャ TEST エクスポート bootflash: このコマンドで TEST.pcap //wireshark でダウンロードされ、開くことができるブートフラッシュに pcap 形式のキャプチャをエクスポートできます。

簡単な ICMP が VxLAN にどのようなにはたらくか説明する 1 人のそのようなキャプチャは下記にあります。

Vxlan に送信された Arp は上にありました:

```
> Frame 58: 110 bytes on wire (880 bits), 110 bytes captured (880 bits)
> Ethernet II, Src: CiscoInc_ef:79:20 (c4:64:13:ef:79:20), Dst: Vmware_b3:56:56 (00:50:56:b3:56:56)
> Internet Protocol Version 4, Src: 1.1.1.1, Dst: 2.2.2.2
> User Datagram Protocol, Src Port: 1024 (1024), Dst Port: 1024 (1024)
# Virtual eXtensible Local Area Network
  > Flags: 0x0000, VXLAN Network ID (VNI)
    Group Policy ID: 0
    VXLAN Network Identifier (VNI): 6001
    Reserved: 0
  > Ethernet II, Src: Vmware_87:4e:9c (00:50:56:87:4e:9c), Dst: Broadcast (ff:ff:ff:ff:ff:ff)
# Address Resolution Protocol (request)
  Hardware type: Ethernet (1)
  Protocol type: IPv4 (0x0000)
  Hardware size: 6
  Protocol size: 4
  Opcode: request (1)
  Sender MAC address: Vmware_87:4e:9c (00:50:56:87:4e:9c)
  Sender IP address: 192.192.192.1
  Target MAC address: 00:00:00_00:00:00 (00:00:00:00:00:00)
  Target IP address: 192.192.192.2
```

ARP応答:

```
> Frame 59: 110 bytes on wire (880 bits), 110 bytes captured (880 bits)
> Ethernet II, Src: Vmware_b3:56:56 (00:50:56:b3:56:56), Dst: CiscoInc_ef:79:20 (c4:64:13:ef:79:20)
> Internet Protocol Version 4, Src: 2.2.2.2, Dst: 1.1.1.1
> User Datagram Protocol, Src Port: 8457 (8457), Dst Port: 1024 (1024)
# Virtual eXtensible Local Area Network
  > Flags: 0x0000, VXLAN Network ID (VNI)
    Group Policy ID: 0
    VXLAN Network Identifier (VNI): 6001
    Reserved: 0
  > Ethernet II, Src: Vmware_31:8a:5a (00:0c:29:31:8a:5a), Dst: Vmware_87:4e:9c (00:50:56:87:4e:9c)
# Address Resolution Protocol (reply)
  Hardware type: Ethernet (1)
  Protocol type: IPv4 (0x0000)
  Hardware size: 6
  Protocol size: 4
  Opcode: reply (2)
  Sender MAC address: Vmware_31:8a:5a (00:0c:29:31:8a:5a)
  Sender IP address: 192.192.192.2
  Target MAC address: Vmware_87:4e:9c (00:50:56:87:4e:9c)
  Target IP address: 192.192.192.1
```

ICMP 要求:

```

> Frame 61: 124 bytes on wire (992 bits), 124 bytes captured (992 bits)
> Ethernet II, Src: CiscoInc_ef:79:20 (c4:64:13:ef:79:20), Dst: Vmware_b3:56:56 (00:50:56:b3:56:56)
> Internet Protocol Version 4, Src: 1.1.1.1, Dst: 2.2.2.2
> User Datagram Protocol, Src Port: 52141 (52141), Dst Port: 1024 (1024)
* Virtual eXtensible Local Area Network
  * Flags: 0x0000, VXLAN Network ID (VNI)
    0... .. = GBP Extension: Not defined
    .... .0.. .. = Don't Learn: False
    .... 1... .. = VXLAN Network ID (VNI): True
    .... .. 0... = Policy Applied: False
    .000 .000 0.00 .000 = Reserved(R): False
  Group Policy ID: 0
  VXLAN Network Identifier (VNI): 6001
  Reserved: 0
> Ethernet II, Src: Vmware_87:4e:9c (00:50:56:87:4e:9c), Dst: Vmware_31:8a:5a (00:0c:29:31:8a:5a)
> Internet Protocol Version 4, Src: 192.192.192.1, Dst: 192.192.192.2
> Internet Control Message Protocol

```

ICMP 応答:

```

> Frame 66: 124 bytes on wire (992 bits), 124 bytes captured (992 bits)
> Ethernet II, Src: Vmware_b3:56:56 (00:50:56:b3:56:56), Dst: CiscoInc_ef:79:20 (c4:64:13:ef:79:20)
> Internet Protocol Version 4, Src: 2.2.2.2, Dst: 1.1.1.1
> User Datagram Protocol, Src Port: 35478 (35478), Dst Port: 1024 (1024)
* Virtual eXtensible Local Area Network
  * Flags: 0x0000, VXLAN Network ID (VNI)
    0... .. = GBP Extension: Not defined
    .... .0.. .. = Don't Learn: False
    .... 1... .. = VXLAN Network ID (VNI): True
    .... .. 0... = Policy Applied: False
    .000 .000 0.00 .000 = Reserved(R): False
  Group Policy ID: 0
  VXLAN Network Identifier (VNI): 6001
  Reserved: 0
> Ethernet II, Src: Vmware_31:8a:5a (00:0c:29:31:8a:5a), Dst: Vmware_87:4e:9c (00:50:56:87:4e:9c)
> Internet Protocol Version 4, Src: 192.192.192.2, Dst: 192.192.192.1
* Internet Control Message Protocol
  Type: 0 (Echo (ping) reply)
  Code: 0
  Checksum: 0xeefb [correct]
  Identifier (BE): 1 (0x0001)
  Identifier (LE): 256 (0x0100)
  Sequence number (BE): 26207 (0x665f)
  Sequence number (LE): 24422 (0x5f66)
  [Request frame: 61]
  [Response time: 7.003 ms]
* Data (32 bytes)
  Data: 6162636465666768696a6b6c6d6e6f707172737475767761...
  [Length: 32]

```

少数の 3> より多くのデバッグおよびトラブルシューティング コマンド

#debug nve すべて

*Jan 5 06:13:55.844: NVE-MGR-DB: 239.0.0.10 のための mcast ノードの作成

*Jan 5 06:13:55.846: NVE-MGR-MCAST: IGMP はのために (0.0.0.0,239.0.0.10) でした失敗追加
します

*Jan 5 06:13:55.846: NVE-MGR-DB エラー: mcast コア ツリーに加入することが不可能

*Jan 5 06:13:55.846: NVE-MGR-DB エラー: mcast コア ツリーに加入することが不可能

*Jan 5 06:13:55.846: NVE-MGR-STATE エラー: vni 6002: エラーは mcast に通知を作成します

*Jan 5 06:13:55.846: NVE-MGR-STATE エラー: vni 6002: エラーは mcast に通知を作成します

*Jan 5 06:13:55.849: NVE-MGR-TUNNEL: トンネルエンドポイント 239.0.0.10 は追加しました

*Jan 5 06:13:55.849: NVE-MGR-TUNNEL: エンドポイント 239.0.0.10 は追加しました

*Jan 5 06:13:55.851: NVE-MGR-EI: VNI 6002 の BD エンジンを知らせて作成して下さい

*Jan 5 06:13:55.857: NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B28] のための vni 6002 を戻して下さい

*Jan 5 06:13:55.857: NVE-MGR-EI: VNI 6002: BD は、vni 状態にに変更されて示します

ここにデバッグの強調表示された一部とそれは NVE インターフェイスがマルチキャスト グループに加わることができなかつたし、それ故に VxLAN カプセル化が VNI 6002 のために有効にならなかつたこと明白です。これらのデバッグはネットワークの問題をマルチキャストするために指します

下記にです VNI 加入する mcast グループに一度送信される IGMPメンバーシップレポート促進して下さい

```
> Frame 4649: 46 bytes on wire (368 bits), 46 bytes captured (368 bits)
> Ethernet II, Src: 00:00:00_00:00:00 (00:00:00:00:00:00), Dst: 00:00:00_00:00:00 (00:00:00:00:00:00)
* Internet Protocol Version 4, Src: 1.1.1.1, Dst: 239.0.0.10
  0100 .... = Version: 4
  .... 0110 = Header Length: 24 bytes (6)
  > Differentiated Services Field: 0xc0 (DSCP: CS6, ECN: Not-ECT)
    Total Length: 32
    Identification: 0xab96 (43926)
  > Flags: 0x00
    Fragment offset: 0
    Time to live: 1
    Protocol: IGMP (2)
  > Header checksum: 0x8775 [validation disabled]
    Source: 1.1.1.1
    Destination: 239.0.0.10
    [Source GeoIP: Unknown]
    [Destination GeoIP: Unknown]
  * Options: (4 bytes), Router Alert
    * Router Alert (4 bytes): Router shall examine packet (0)
      * Type: 148
        1... .... = Copy on fragmentation: Yes
        .00. .... = Class: Control (0)
        ...1 0100 = Number: Router Alert (20)
        Length: 4
        Router Alert: Router shall examine packet (0)
  * Internet Group Management Protocol
    [IGMP Version: 2]
    Type: Membership Report (0x16)
    Max Resp Time: 0.0 sec (0x00)
    Header checksum: 0xfaf4 [correct]
    Multicast Address: 239.0.0.10
```

マルチキャストが予想通りはたらく場合、デバッグ情報はマルチキャスト モードについては NVE の下で VNI を設定した後見られると期待される次の通りです

*Jan 5 06:19:20.335: NVE-MGR-DB: [IF 0x14]VNI ノード作成

*Jan 5 06:19:20.335: NVE-MGR-DB: VNI ノードは [437C9B28] を作成しました

*Jan 5 06:19:20.336: NVE-MGR-PD: VNI 6002 は PD に通知を作成します

*Jan 5 06:19:20.336: NVE-MGR-PD: VNI 6002 は正常な notif をマップ[pd 0x1020017] への作成します[pi 0x437C9B28]

*Jan 5 06:19:20.336: NVE-MGR-DB: 239.0.0.10 のための mcast ノードの作成

*Jan 5 06:19:20.342: NVE-MGR-MCAST: IGMP はのために (0.0.0.0,239.0.0.10) でした正常追加します

*Jan 5 06:19:20.345: NVE-MGR-TUNNEL: トンネルエンドポイント 239.0.0.10 は追加しました

- *Jan 5 06:19:20.345: NVE-MGR-TUNNEL: エンドポイント 239.0.0.10 は追加しました
- *Jan 5 06:19:20.347: NVE-MGR-EI: VNI 6002 の BD エンジンを知らせて作成して下さい
- *Jan 5 06:19:20.347: NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B28] のための pd_hdl[0x1020017] を戻して下さい
- *Jan 5 06:19:20.347: NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B28] のための vni 6002 を戻して下さい
- *Jan 5 06:19:20.349: NVE-MGR-DB: 帰り vni 状態は pi_hdl[0x437C9B28] のために作成します
- *Jan 5 06:19:20.349: NVE-MGR-DB: 帰り vni 状態は pi_hdl[0x437C9B28] のために作成します
- *Jan 5 06:19:20.349: NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B28] のための vni 6002 を戻して下さい
- *Jan 5 06:19:20.351: NVE-MGR-EI: ヒント 0x437C9B28 のための L2FIB クエリ
- *Jan 5 06:19:20.351: NVE-MGR-EI: PP は bd_id 3 のための通知を活動化します
- *Jan 5 06:19:20.351: NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B28] のための vni 6002 を戻して下さい
- *Jan 5 06:19:20.352: NVE-MGR-STATE: vni 6002: ステートの 変化の呼出 クライアントはに作成します
- *Jan 5 06:19:20.352: NVE-MGR-DB: pi_hdl[0x437C9B28] のための vni 6002 を戻して下さい
- *Jan 5 06:19:20.353: NVE-MGR-PD: VNI 6002 は正常な PD に UP 状態にアップデートを作成します
- *Jan 5 06:19:20.353: NVE-MGR-EI: VNI 6002: BD は、vni 状態にに変更されて示します
- *Jan 5 06:19:20.353: NVE-MGR-STATE: vni 6002: ステートの 変化無し
- *Jan 5 06:19:20.353: NVE-MGR-STATE: vni 6002: 新しい状態はの結果として作成します

参照:

CSR1000v のための VxLAN コンフィギュレーション ガイド

<http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/csr1000/software/vxlan/vxlan.html>

CSR1000v のための VxLAN コンフィギュレーション ガイド

<http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/asr1000/configuration/guide/chassis/asrswcfg/vxlan.html>